



2014年度 決算説明会

KOBELCO



2015年4月28日
株式会社神戸製鋼所
代表取締役副社長 梅原 尚人



報告事項

1. 2014年度実績
2. 2015年度業績見通し
3. 中期計画の進捗状況
4. 財務の状況
5. 参考データ



ECOWAY

1.2014年度決算



ECOWAY

2014年度 実績

(単位：億円)

	2013年度	2014年度		差異	
	実績	2月公表	実績	対前年	対前回
売上高	18,246	19,100	18,868	+ 621	△232
営業利益	1,145	1,150	1,194	+ 49	+ 44
(在庫評価影響を除く)	(965)	(1,220)	(1,259)	(+294)	(+39)
経常利益	850	900	1,016	+ 166	+ 116
(在庫評価影響を除く)	(670)	(970)	(1081)	(+411)	(+111)
特別損益	31	-	26	△5	+ 26
当期純利益	701	700	865	+ 163	+ 165



ECOWAY

2014年度 セグメント別売上高

(単位：億円)

	2013年度	2014年度		差異	
		実績	2月公表	実績	対前年
鉄 鋼	8,085	7,950	7,978	△107	+28
溶 接	883	950	944	+61	△6
アルミ・銅	2,956	3,300	3,308	+351	+8
機 械	1,498	1,690	1,591	+93	△99
エンジニアリング	391	530	490	+99	△40
神鋼環境ソリューション	681	705	681	△0	△24
コベルコ建機	3,182	3,150	3,110	△72	△40
コベルコクレーン	566	710	711	+144	+1
その他の	712	750	760	+48	+10
消 去	△710	△635	△707	+2	△72
合 計	18,246	19,100	18,868	+621	△232



ECOWAY

2014年度 セグメント別経常損益

(単位：億円)

		2013年度	2014年度		差異	
		実績	2月公表	実績	対前年	対前回
鉄	鋼	335	260	287	△47	+27
溶	接	72	95	102	+30	+7
アルミ	銅	151	140	151	±0	+11
機	械	64	90	104	+39	+14
エンジニアリング		△39	0	7	+47	+7
神鋼環境ソリューション		26	27	30	+3	+3
コベルコ建機		151	220	210	+58	△10
コベルコクレーン		32	50	51	+19	+1
その他		68	65	70	+2	+5
消	去	△12	△47	△0	+12	+47
合	計	850	900	1,016	+166	+116



ECOWAY

2.2015年度業績見通し



ECOWAY

2015年度 業績見通し

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年度
売上高	9,160	9,708	18,868	9,800	10,100	19,900	+1,032
営業利益	571	622	1,194	500	750	1,250	+56
(在庫評価影響を除く)	(606)	(653)	(1,259)	(545)	(750)	(1,295)	(+36)
経常利益	461	555	1,016	400	550	950	△66
(在庫評価影響を除く)	(496)	(585)	(1,081)	(445)	(550)	(995)	(△86)
特別損益	—	26	26	—	—	—	△26
親会社株主に帰属する 当期純利益	421	444	865	250	350	600	△265



ECOWAY

2015年度 セグメント別売上高

(単位：億円)

		2014年度			2015年度			差異
		上期	下期	年度	上期	下期	年度	年度
鉄	鋼	3,866	4,112	7,978	3,850	4,050	7,900	△78
溶	接	456	488	944	480	500	980	+36
アルミ	銅	1,615	1,693	3,308	1,900	1,900	3,800	+492
機	械	730	861	1,591	860	920	1,780	+189
エンジニアリング		190	299	490	260	270	530	+40
神鋼環境ソリューション		271	409	681	340	490	830	+149
コベルコ建機		1,697	1,412	3,110	1,650	1,500	3,150	+40
コベルコクレーン		358	352	711	400	410	810	+99
その他		304	455	760	360	420	780	+20
消去		△331	△376	△707	△300	△360	△660	+47
合計		9,160	9,708	18,868	9,800	10,100	19,900	+1,032



ECOWAY

2015年度 セグメント別経常損益

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年度
鉄 鋼	104	183	287	130	220	350	+63
溶 接	46	56	102	40	50	90	△12
アルミ・銅	60	91	151	80	80	160	+9
機 械	32	71	104	25	55	80	△24
エンジニアリング	△5	13	7	5	△5	0	△7
神鋼環境ソリューション	3	26	30	2	33	35	+5
コベルコ建機	161	48	210	110	90	200	△10
コベルコクレーン	31	19	51	20	30	50	△1
そ の 他	19	51	70	20	55	75	+5
消 去	5	△5	△0	△32	△58	△90	△90
合 計	461	555	1,016	400	550	950	△66



ECOWAY

【鉄鋼】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年度
売上高	3,866	4,112	7,978	3,850	4,050	7,900	△78
経常利益	104	183	287	130	220	350	+63
(在庫評価影響)	(△35)	(△45)	(△80)	(△55)	(△5)	(△60)	(+20)

2015年度の状況

- 国内自動車向けは、足元需要家の在庫調整等により弱含んでいるが、下期に向けて回復すると想定。
- 原油価格の下落に伴うエネルギー関連需要の減少が懸念される一方、造船向けの需要は堅調に推移すると想定。



ECOWAY

【鉄鋼】生産・販売状況

	2013年度			2014年度			
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
全国粗鋼 (万t)	5,582	5,571	11,152	5,556	5,429	10,985	
全国在庫水準 (万t)	553	568	--	593	* 590	--	2月末
薄板3品在庫水準 (万t)	388	411	--	431	* 427	--	2月末
国内自動車生産台数 (万台)	474	517	991	478	* 392	870	4-2月計

<当社>

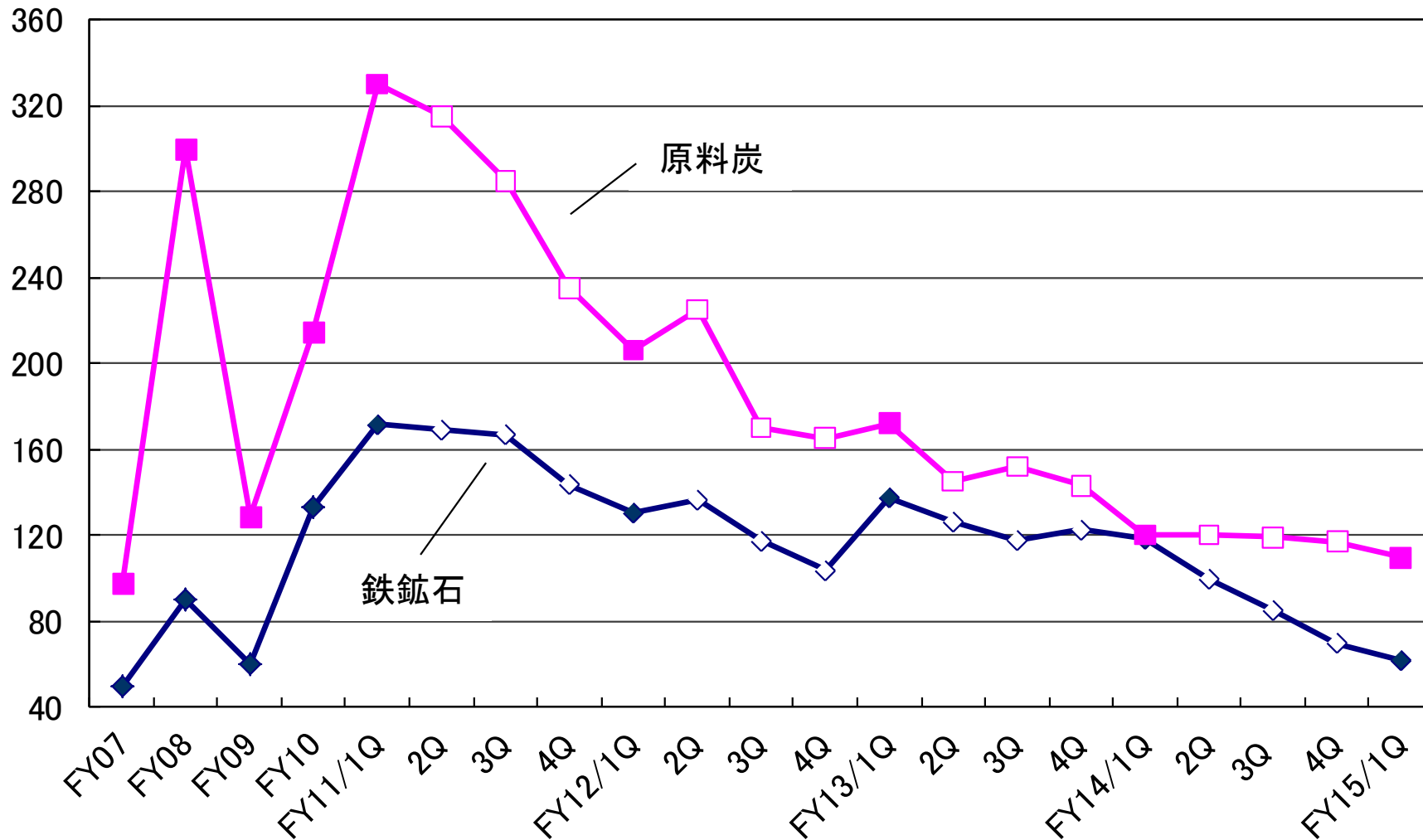
粗鋼生産 (万t)	379	383	762	367	381	748
鋼材販売量 (万t)	307	320	627	294	311	605
(内 国内)	(208)	(221)	(429)	(205)	(212)	(417)
(内 輸出)	(99)	(99)	(198)	(89)	(99)	(188)
鋼材販売単価 (千円/t)	78.8	81.5	80.2	82.4	81.0	81.7
鋼材輸出比率(金額ベース)	31.9%	30.8%	31.3%	30.6%	33.5%	32.1%



ECOWAY

【鉄鋼】鉄鉱石と原料炭（強粘炭） 価格推移

(単位：\$/トン)

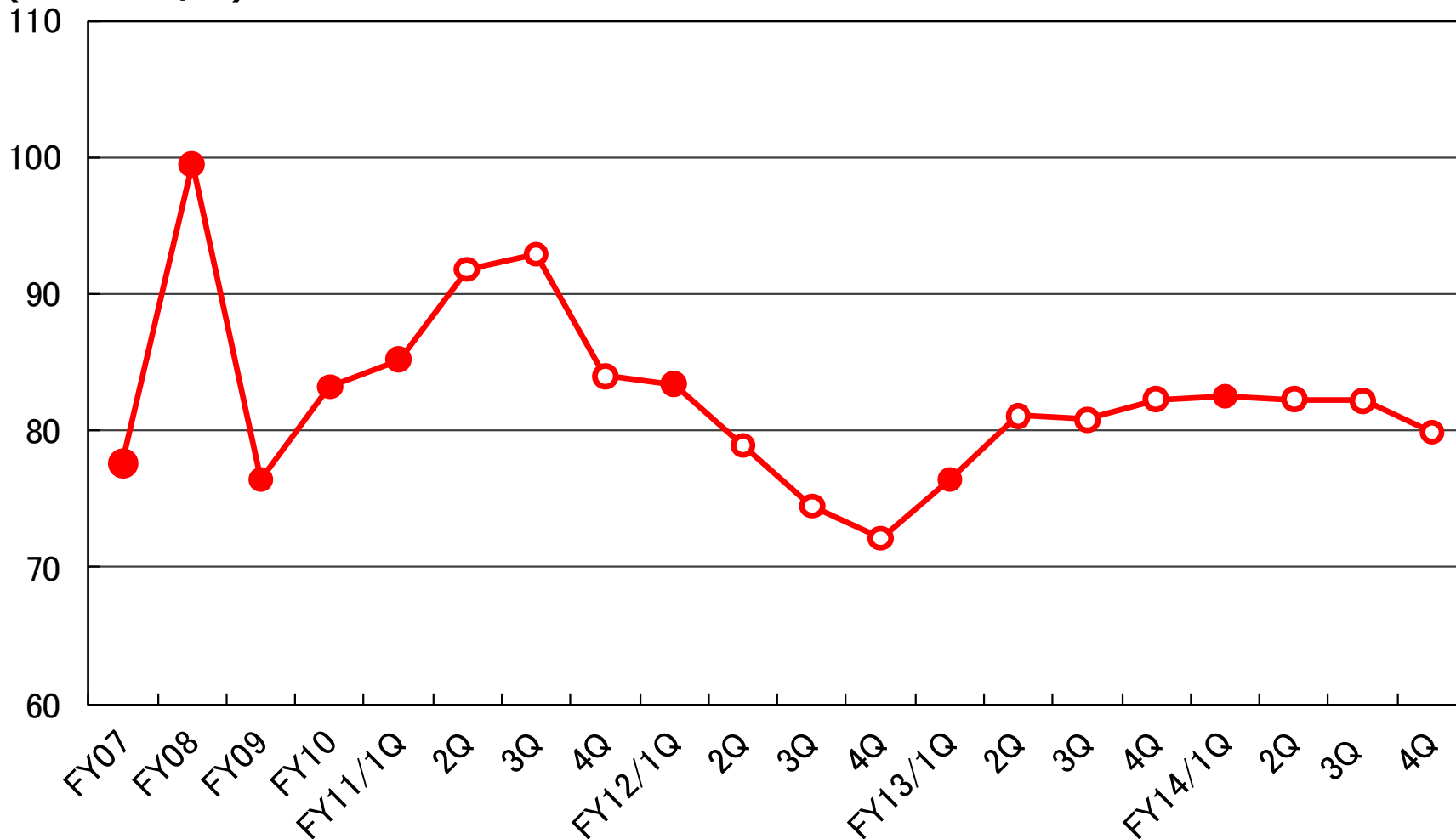




ECOWAY

【鉄鋼】鋼材単価の推移

(単位：千円/ト)





ECOWAY

【溶接】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異 年度
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
売上高	456	488	944	480	500	980	+36
経常利益	46	56	102	40	50	90	△12

2015年度の状況

- 2014年度に引き続き、東南アジアの景気減速や、原油価格の下落影響に伴うエネルギー関連需要の停滞を想定。



ECOWAY

【溶接】出荷実績と当社販売実績

(単位：千ト)

<溶接材料>

	2013年度			2014年度			差異
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年度
国内メーカー出荷 (輸出除く)	103	113	216	113	114	227	+ 11

<当社の販売状況>

国内	60	66	126	67	68	135	+ 9
海外	96	98	194	95	92	187	△ 7
合計	155	164	319	162	160	322	+ 3



ECOWAY

【アルミ・銅】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異 年度
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
売上高	1,615	1,693	3,308	1,900	1,900	3,800	+492
経常利益	60	91	151	80	80	160	+9
(在庫評価影響)	(0)	(15)	(15)	(10)	(5)	(15)	(0)

2015年度の状況

- 飲料用缶材や、銅圧延品の自動車・半導体・エアコン向けの需要が堅調に推移すると想定。



ECOWAY

【アルミ・銅】全国数量と当社販売実績

(単位：千トン)

	2013年度			2014年度		
	上期	下期	年度	上期	* 下期	年度
アルミ圧延品出荷 (輸出含む)	979	1,005	1,984	1,030	829	1,859
アルミ板	574	575	1,149	625	501	1,126
内 缶材(国内)	(217)	(194)	(411)	(221)	(160)	(381)
アルミ押出	405	430	835	405	328	733
伸銅品生産	252	268	520	268	222	490
板条	197	209	406	209	176	385
銅管	55	59	114	59	46	105

4-2月計

<当社の販売状況>

アルミ圧延品 国内	113	109	222	125	126	251
輸出	22	23	45	29	36	65
銅板条	24	24	48	27	27	54
銅管	44	41	85	45	40	85



ECOWAY

【機械】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異 年度
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
売上高	730	861	1,591	860	920	1,780	+189
経常利益	32	71	104	25	55	80	△24
受注高	737	676	1,413	—	—	1,600程度	—

2015年度の状況

- 円安定着の追い風があるものの、特に圧縮機事業において、原油価格下落の影響を受けた不透明な市場環境が続いている。



ECOWAY

【エンジニアリング】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異 年度
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
売上高	190	299	490	260	270	530	+40
経常損益	△5	13	7	5	△5	0	△7
受注高	145	107	252	—	—	600程度	—

2015年度の状況

- 海外における製鉄プラントの受注環境は引き続き厳しいものと想定。



ECOWAY

【神鋼環境ソリューション】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異 年度
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
売上高	271	409	681	340	490	830	+149
経常利益	3	26	30	2	33	35	+5

2015年度の状況

- 水処理関連事業に係る国内公共投資は低水準で推移し、廃棄物関連事業に係る国内公共投資は当面現状の水準で推移すると想定。



ECOWAY

【コベルコ建機】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年度
売上高	1,697	1,412	3,110	1,650	1,500	3,150	+40
経常利益	161	48	210	110	90	200	△10

2015年度の状況

- 国内では、高水準な公共投資を背景にした堅調な需要を想定する一方、需要家における人手不足が懸念される。
- 海外では、米国の需要は堅調に推移する一方、中国の需要は引き続き低調に推移するものと想定。



ECOWAY

【コベルコクレーン】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年度
売上高	358	352	711	400	410	810	+99
経常利益	31	19	51	20	30	50	△1

2015年度の状況

- 国内外共に需要は堅調に推移すると想定。



ECOWAY

3.中期計画の進捗状況



ECOWAY

【経営基盤の再構築】

重点施策	取り組み	2014年度 効果額 (2012年度比)	2015年度 効果額 (2012年度比)	中期計画
				効果額合計 (2012年度比)
鉄鋼事業の 収益力強化 (体質強化活動を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 設備投資効果 ● 生産現場レベルでのコスト削減 ● 原料コスト削減 ● 固定費削減 	320億円	430億円	600億円
体質強化活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 人事労務施策(※) ● 固定費削減 ● 調達コスト削減 ● 工場/ものづくり力強化 	120億円	90億円	300億円

※ 14年4月より、役員報酬/管理職月俸カットを解除

重点施策	取り組み	2013-2015年度		中期計画
		2013- 2014年度合計	キャッシュ創出額 合計	キャッシュ創出額 合計
財務体質の 改善	<ul style="list-style-type: none"> ● たな卸資産の削減 ● 債権流動化の推進 ● 資産売却 ● 投資の厳選 	1,700億円	1,800億円	1,200億円



ECOWAY

【安定と成長への布石】

鋼材事業の構造改革

2017年を目処に上工程設備を加古川製鉄所へ集約

- 設備発注、現地工事など全体的に予定通り進捗
- 上工程変更に伴い必要となる需要家の再承認取得を推進

成長市場での事業拡大：自動車分野

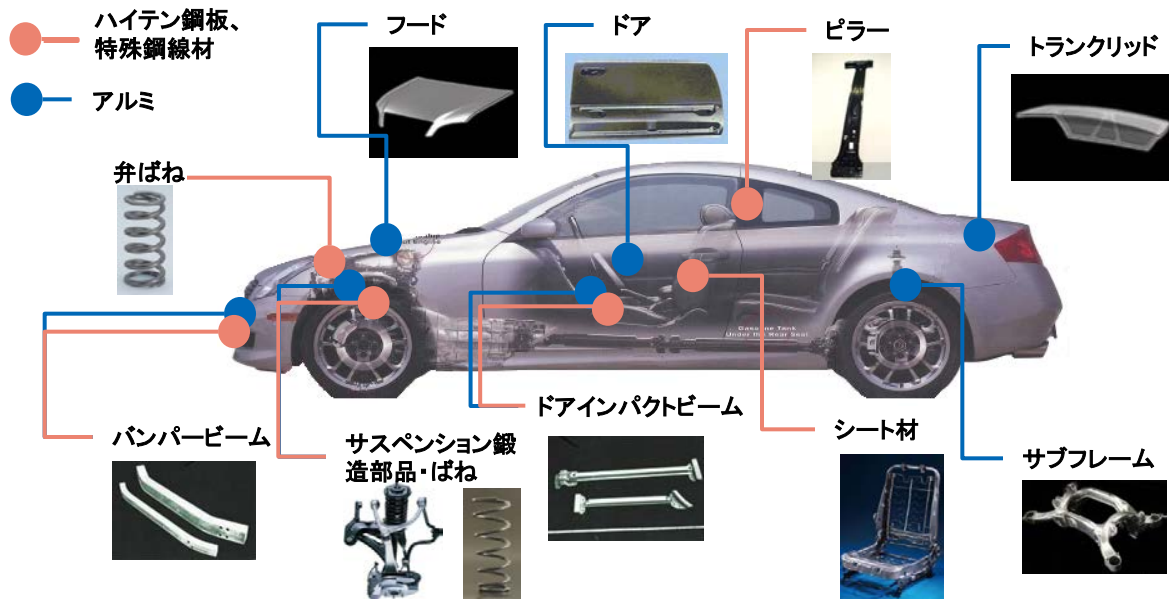
- 鉄鋼
- ：北米) 自動車用冷延ハイテン製造設備稼働開始 (2013年5月稼働)
 - ：中国) 自動車用冷延ハイテン製造合弁会社設立 (2016年初頭稼働予定)
 - ：当社チタン材がトヨタ自動車「MIRAI」に採用
- アルミ・銅
- ：中国) アルミ鍛造拠点における能力増強設備稼働開始 (2013年4月稼働)
 - ：中国) 自動車パネル用アルミ板材製造会社設立 (2016年稼働予定)
 - ：北米) 自動車パネル用アルミ板材製造合弁会社設立検討
 - ：北米) アルミ鍛造拠点における能力増強設備稼働開始 (2014年8月稼働)



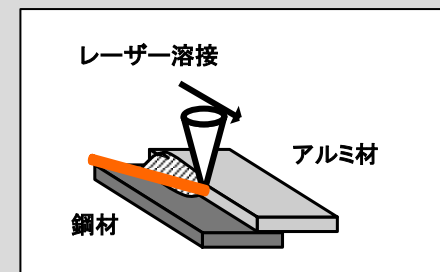
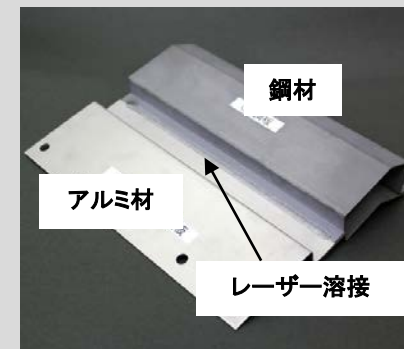
ECOWAY

(ご参考) 自動車軽量化への取り組み

自動車軽量化に適した鉄鋼・アルミの高技術・高シェア製品群



異種金属接合技術



鉄とアルミを組み合わせたバンパー



鉄、アルミ、溶接技術を
組み合わせた
マルチマテリアル商品の
提案が可能

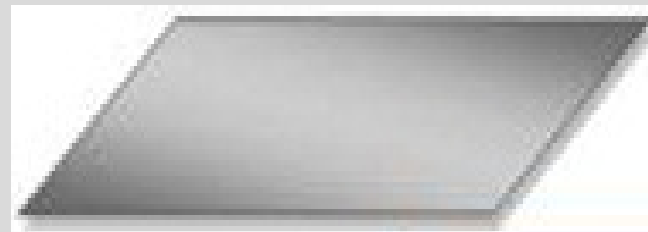
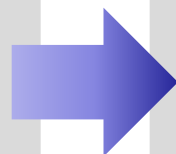


ECOWAY

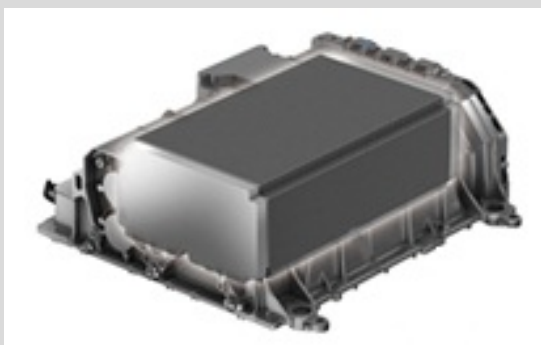
(ご参考) 当社チタン材がトヨタ自動車「MIRAI」に採用



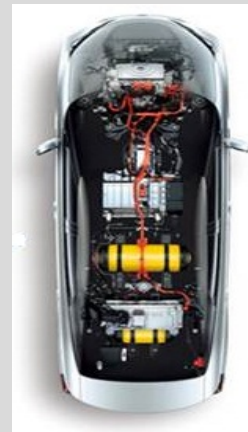
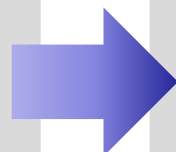
特殊チタン圧延材



燃料電池セパレーター



燃料電池スタック



トヨタ自動車
「MIRAI」



ECOWAY

【安定と成長への布石】

成長市場での事業拡大（エネルギー・インフラ分野）

鉄鋼	: 航空機用チタン大型鍛造品の供給契約締結
機械	: パッケージ型水素ステーションユニット受注開始 : ブラジル) 圧縮機販売・サービス拠点設立
エンジニアリング	: voestalpine社から米国のMIDREX還元鉄プラントを受注
コベルコ建機	: 欧米市場への再参入 : 北米) 油圧ショベルの生産工場設立

（ご参考）北米）油圧ショベルの生産工場設立

新工場概要

建設予定地	: 米国サウスカロライナ州
生産開始時期	: 2016年1月
生産機種	: 20 t 機
生産能力	: 1,800台／年
投資金額	: 50億円程度





ECOWAY

【安定と成長への布石】

◆ 電力供給事業の拡大

◇ 栃木県真岡市でガス火力発電所を建設

- 東京瓦斯株式会社と電力受給契約を締結
- 発電能力：120万kW（60万kW×2基）
- 2019年度の供給開始を予定
- 現在、環境アセスメントを実施中

◇ 神戸製鉄所で石炭火力発電所を増設

- 関西電力株式会社と電力受給契約を締結
- 発電能力：130万kW（65万kW×2基）
- 2021年度の供給開始を予定
- 現在、環境アセスメントを実施中



ECOWAY

4.財務の状況

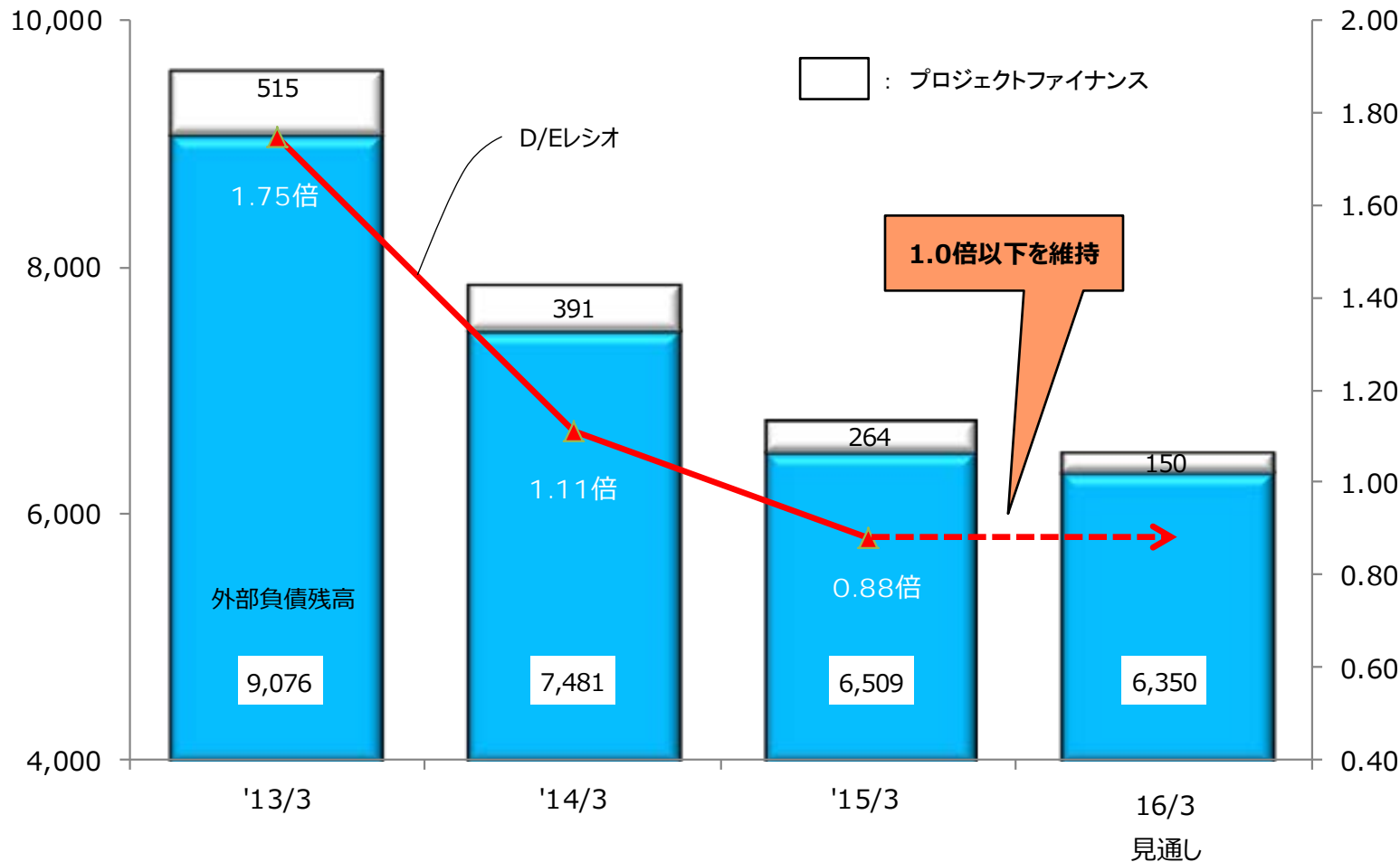


ECOWAY

【財務の状況】

(単位：億円)

(単位：倍)



DEレシオ
中期目標

1.5倍程度

1.3倍程度

16年度以降の早い
段階にD/Eレシオ
1.0倍の実現を目指す



ECOWAY

5. 参考データ



ECOWAY

【財務指標】

	2012年度	2013年度	2014年度
売上高経常利益率	△ 1.1%	4.7%	5.4%
1株あたり当期純利益	△ 8.98円	22.62円	23.81円
自己資本当期純利益率	△ 5.2%	11.9%	12.0%
総資産経常利益率	△ 0.8%	3.8%	4.4%
D/Eレシオ	1.75倍	1.11倍	0.88倍



EcoWay

【フリーキャッシュフロー】

(単位：億円)

	2014年度			2015年度			差異
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年度
営業キャッシュフロー	797	733	1,530	910	800	1,710	+180
投資キャッシュフロー	△ 392	△ 344	△ 736	△ 560	△ 700	△ 1,260	△ 524
フリーキャッシュフロー	405	389	794	350	100	450	△ 344
プロジェクト外ファイナンス 返済原資	73	25	98	50	100	150	+52
プロジェクト外ファイナンス除く フリーキャッシュフロー	332	364	696	300	0	300	△ 396
プロジェクト外ファイナンス除く 現預金残高	939	840		850	750		△ 90



ECOWAY

【設備投資の状況】

(単位：億円)

	2012年度	2013年度 ①	2014年度 ②	2015年度 ③	差異	
					②－①	③－②
設備投資<計上>	1,149	1,014	1,035	1,200	+21	+165
対減価償却費	108%	122%	115%	109%	△7%	△6%
設備投資<支払い>	1,095	954	953	1,250	△1	+297
対減価償却費	103%	115%	106%	114%	△9%	+8%
減価償却費	1,067	829	898	1,100	+69	+202



ECOWAY

全社 差異内訳 (2013年度⇒2014年度)

(単位：億円)

	2013年度			2014年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	431	418	850	461	555	1,016

+166

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 500	生産・出荷	△ 75
銅在庫評価影響	+ 5	総コスト	△ 50
連結子会社・持分法	+ 190	鉄鋼在庫評価影響	△ 250
		鉄鋼為替影響	△ 120
		その他	△ 34
合計	+ 695	合計	△ 529



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳 (2013年度⇒2014年度)

(単位：億円)

	2013年度			2014年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	155	180	335	104	183	287

Δ47

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 500	生産・出荷	△ 105
		総コスト	△ 20
		在庫評価影響	△ 250
		為替影響	△ 120
		その他	△ 52
合計	+ 500	合計	△ 547



ECOWAY

全社 差異内訳 (2014年度2月公表⇒実績)

(単位：億円)

	2014年度2月公表			2014年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	461	439	900	461	555	1,016

+116

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 25		-
原料価格	± 0		
総コスト	+ 5		
鉄鋼在庫評価影響	± 0		
Al・Cu在庫評価影響	+ 5		
連結子会社・持分法	+ 25		
その他	+ 56		
合計	+ 116	合計	-



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳（2014年度2月公表⇒実績）

(単位：億円)

	2014年度2月公表			2014年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	104	156	260	104	183	287

+27

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 30	総コスト	△ 10
原料価格	± 0		
在庫評価影響	± 0		
為替影響	± 0		
その他	+ 7		
合計	+ 37	合計	△ 10



ECOWAY

全社 差異内訳 (2014年度⇒2015年度)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	461	555	1,016	400	550	950

Δ66

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 465	生産・出荷	△ 300
総コスト	+ 35	鉄鋼為替影響	△ 105
鉄鋼在庫評価影響	+ 20	その他	△ 201
銅在庫評価影響	± 0		
連結子会社・持分法	+ 20		
合計	+ 540	合計	△ 606



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳 (2014年度⇒2015年度)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	104	183	287	130	220	350

+63

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 465	生産・出荷	△ 345
総コスト	+ 70	為替影響	△ 105
在庫評価影響	+ 20	その他	△ 42
合計	+ 555	合計	△ 492



ECOWAY

企業理念

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

以上の理念の下、グループ全体としての企業価値を向上させます。



将来見通しに関する注意事項

- **本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。**
- **上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。**
 - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - 為替相場の変動
 - 原材料のアベイラビリティや市況
 - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化